

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	生物工学科	夜・通信	8単位	6単位	
	環境生態学科	夜・通信	8単位	6単位	
	環境土木学科	夜・通信	8単位	6単位	
	環境建築学科	夜・通信	12単位	6単位	
	IT総合学科	夜・通信	8単位	6単位	
医療専門課程	栄養薬業学科	夜・通信	8単位	6単位	
備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
當山 善堂 非常勤	元沖縄県知事公室秘書課長 元八重山支庁長 元沖縄県公文書館館長	5年	組織運営相談役
米盛 重保 非常勤	元国立大学法人琉球大学 農学部准教授	5年	科目計画相談役
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	サイ・テク・カレッジ美浜
設置者	学校法人南星学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト(教科書) <p>授業計画(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼(シラバス作成ガイド等を送付) ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成 <p>授業計画の作成・公表時期</p> <p>作成時期 12月中旬～2月下旬 公表時期 4月</p>	
授業計画の公表方法	ホームページに掲載 https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/
<p>2. 学習意欲の把握、試験レポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

3. 成果評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表することともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学習意欲の向上及び就学指導に資すること並びに「大学等における就学の支援に関する法律」による支援対象となる学生の認定要件の確認を目的に、学修成果を総合的に判断できる指標として、全授業科目の成績評価の合計点の平均を算出し、成績の分布状況、各学生の成績を相対的に把握し適切な指導にあたる。

- ・ 成績評価部会が GPA 等の客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施について検討
- ・ 教務委員会で成績評価部会の報告を確認
- ・ 全教員に成績評価実施内容について周知
- ・ 成績評価・公表の実施
- ・ 各学生の成績を相対的に把握、適切な指導

客観的な指標の
算出方法の公表方法

GPA 等の客観的な指標の具体的な内容

GPA 制度を導入し、履修した授業科目ごとの成績を次のように換算して、履修したそれぞれの授業科目の単位数を掛けて合計した数値を全履修単位数で割って GPA を算出。

令和元年度（2019 年度）設定値

評価	採点	GP
秀	90 点～100 点	4
優	80 点～ 89 点	3
良	70 点～ 79 点	2
可	60 点～ 69 点	1
不可	0 点～ 59 点	0

	<p>客観的な指標の適切な実施状況</p> <p>学生の主体的に学ぼうとする学修意欲の向上を図るための方策として、上記の方法により算出した「GPA 分布表」を本学の掲示板で学生に公開している。</p>
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページに掲載</p> <p>https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学校法人南星学園の前身となるサイ・テク・カレッジは、平成 8 年 4 月に開校し、以下の校訓を掲げている。</p> <p>○ 敬愛協同 ○ 創意工夫 ○ 初志貫徹</p> <p>本校の教育指導方針は、この校訓のもとに定められている。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針</p> <p>校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力 <p>卒業要件</p> <p>卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上）</p> <p>卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</p> <p>上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページに掲載</p> <p>https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	生物学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	81単位	4単位	1単位	7単位	0単位
			93単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
36人		22人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>授業計画（シラバス）の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト（教科書） <p>授業計画（シラバス）の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付） ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成 <p>授業計画の作成・公表時期</p> <p>作成時期 12月中旬～2月下旬</p> <p>公表時期 4月</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況</p> <p>各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。</p> <p>当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。</p>

卒業・進級の認定基準
卒業認定・学位授与の方針 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力
卒業要件 卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上）
卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。
学修支援等 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）													
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他										
7 人 (100%)	2 人 (28.6%)	5 人 (71.4%)	0 人 (0%)										
(主な就職、業界等) <ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科 3 年次編入 ・富山大学理学部生物学科 3 年次編入 ・イカリ消毒株式会社沖縄 ・株式会社アイ・メッツ ・株式会社宮平乳業 ・琉球バイオリソース開発 ・赤マルソウ など 													
(就職指導内容) 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。 カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。													
(主な学修成果（資格・検定等）） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>乙 4 類危険物取扱者 14 名</td> <td>乙 1 類危険物取扱者 3 名</td> </tr> <tr> <td>乙 3 類危険物取扱者 3 名</td> <td>乙 5 類危険物取扱者 3 名</td> </tr> <tr> <td>毒劇物取扱者 2 名</td> <td>中級バイオ技術者認定試験 10 名</td> </tr> <tr> <td>食生活アドバイザー検定 2 級 8 名</td> <td>食生活アドバイザー検定 3 級 1 名</td> </tr> <tr> <td>食品表示検定試験中級 1 名</td> <td></td> </tr> </table>				乙 4 類危険物取扱者 14 名	乙 1 類危険物取扱者 3 名	乙 3 類危険物取扱者 3 名	乙 5 類危険物取扱者 3 名	毒劇物取扱者 2 名	中級バイオ技術者認定試験 10 名	食生活アドバイザー検定 2 級 8 名	食生活アドバイザー検定 3 級 1 名	食品表示検定試験中級 1 名	
乙 4 類危険物取扱者 14 名	乙 1 類危険物取扱者 3 名												
乙 3 類危険物取扱者 3 名	乙 5 類危険物取扱者 3 名												
毒劇物取扱者 2 名	中級バイオ技術者認定試験 10 名												
食生活アドバイザー検定 2 級 8 名	食生活アドバイザー検定 3 級 1 名												
食品表示検定試験中級 1 名													
(備考) (任意記載事項)													

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	環境生態学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	73単位	4単位	5単位	6単位	0単位
			88単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
36人		29人	1人	3人	5人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
授業計画（シラバス）の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト（教科書） 	
授業計画（シラバス）の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付） ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成 	
授業計画の作成・公表時期 作成時期 12月中旬～2月下旬 公表時期 4月	
成績評価の基準・方法	
単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。 当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。	

卒業・進級の認定基準
卒業認定・学位授与の方針 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力
卒業要件 卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上）
卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。
学修支援等 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）													
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他										
13 人 (100%)	5 人 (38.5%)	7 人 (53.8%)	1 人 (7.7%)										
(主な就職、業界等) ・琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科 3 年次編入 ・長崎大学環境科学部環境政策コース 3 年次編入 ・沖縄国際大学経済学部地域環境政策学科 3 年次編入 ・株式会社沖縄環境分析センター ・ 沖縄環境調査株式会社 ・ 株式会社沖縄ウコン堂 ・ 株式会社沖縄環境保全研究所 ・ 沖縄県水産海洋技術センター など													
(就職指導内容) 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。 カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。													
(主な学修成果（資格・検定等）） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>乙 1 類危険物取扱者 3 名</td> <td>乙 2 類危険物取扱者 4 名</td> </tr> <tr> <td>乙 3 類危険物取扱者 6 名</td> <td>乙 4 類危険物取扱者 15 名</td> </tr> <tr> <td>乙 5 類危険物取扱者 1 名</td> <td>乙 6 類危険物取扱者 1 名</td> </tr> <tr> <td>毒劇物取扱者 1 名</td> <td>PADI オープン・ウォーター・ダイバー 7 名</td> </tr> <tr> <td>中級バイオ技術者認定試験 2 名</td> <td>第 4 種公害防止管理者 1 名</td> </tr> </table>				乙 1 類危険物取扱者 3 名	乙 2 類危険物取扱者 4 名	乙 3 類危険物取扱者 6 名	乙 4 類危険物取扱者 15 名	乙 5 類危険物取扱者 1 名	乙 6 類危険物取扱者 1 名	毒劇物取扱者 1 名	PADI オープン・ウォーター・ダイバー 7 名	中級バイオ技術者認定試験 2 名	第 4 種公害防止管理者 1 名
乙 1 類危険物取扱者 3 名	乙 2 類危険物取扱者 4 名												
乙 3 類危険物取扱者 6 名	乙 4 類危険物取扱者 15 名												
乙 5 類危険物取扱者 1 名	乙 6 類危険物取扱者 1 名												
毒劇物取扱者 1 名	PADI オープン・ウォーター・ダイバー 7 名												
中級バイオ技術者認定試験 2 名	第 4 種公害防止管理者 1 名												
(備考) (任意記載事項)													

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	環境土木学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	80単位	0単位	14単位	2単位	6単位
			102単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		8人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
授業計画（シラバス）の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト（教科書） 	
授業計画（シラバス）の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付） ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成 	
授業計画の作成・公表時期 作成時期 12月中旬～2月下旬 公表時期 4月	
成績評価の基準・方法	
単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。 当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。	

卒業・進級の認定基準
卒業認定・学位授与の方針 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力 卒業要件 卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上） 卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。
学修支援等
担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) ・株式会社仲本工業 ・協和建設コンサルタント株式会社 ・株式会社ホープ設計 ・北谷町役場 下水道課など			
(就職指導内容) 就職アドバイザーを置き求人に関する情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。 カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 測量士補 3名 2 級土木施工管理技士（学科） 3 名 2 級建築施工管理技士（学科） 1 名 積算士補試験 3 名			
(備考) (任意記載事項) 平成 30 年度は在籍者無し			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	環境建築学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	76単位	4単位	20単位	0単位	0単位
			100単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
28人		11人	1人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
授業計画（シラバス）の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト（教科書） 	
授業計画（シラバス）の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付） ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成 	
授業計画の作成・公表時期 作成時期 12月中旬～2月下旬 公表時期 4月	
成績評価の基準・方法	
単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。 当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。	

卒業・進級の認定基準
卒業認定・学位授与の方針 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力
卒業要件 卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上）
卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。
学修支援等 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) ・株式会社大米建設 ・有限会社大地建設 ・株式会社国建 ・株式会社 BUCCANEER ・株式会社ユートピア設計ネットワーク ・有限会社室内装飾みやぎ ・株式会社仲本工業 など			
(就職指導内容) 就職アドバイザーを置き求人に関する情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。 カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。			
(主な学修成果（資格・検定等）） 2 級建築施工管理技士（学科） 9 名 建築積算士補 2 名 測量士補 1 名 2 級土木施工管理技士（学科） 1 名			
(備考)（任意記載事項）			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IT総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	26単位	35単位	4単位	0単位	0単位
			65単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		15人	1人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業計画（シラバス）の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト（教科書） 授業計画（シラバス）の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付） ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成 授業計画の作成・公表時期 <p>作成時期 12月中旬～2月下旬 公表時期 4月</p>
成績評価の基準・方法
単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 <p>各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。</p> <p>当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。</p>

卒業・進級の認定基準
卒業認定・学位授与の方針 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力 卒業要件 卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上） 卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。
学修支援等
担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	2 人 (22.2%)	5 人 (55.6%)	2 人 (22.2%)
(主な就職、業界等) ・株式会社 D2C dot ・株式会社セキュアイノベーション ・株式会社センスオブワンダー ・株式会社丸中商会 など			
(就職指導内容) 就職アドバイザーを置き求人に関する情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。 カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。			
(主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート 3名 基本情報処理技術者 1名 Oracle Certified Java Programmer, Silver 1名			
(備考) (任意記載事項)			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	栄養薬業学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	83単位	6単位	3単位	0単位	0単位
			92単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		2人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業計画（シラバス）の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・科目コード ・履修時間 ・対象学年 ・科目区分 ・授業形態 ・実務経験 ・授業の展開計画 ・評価方法 ・参考文献・その他 ・科目名 ・開講学期 ・担当教員 ・講義コマ ・単位数 ・授業のねらい ・履修上の注意事項 ・テキスト（教科書）
授業計画（シラバス）の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討 ・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認 ・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付） ・全教員が教務部にシラバスを提出 ・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼 ・該当教員が教務部にシラバスを再提出 ・シラバス点検部会がシラバスを再点検 ・シラバス完成
授業計画の作成・公表時期 作成時期 12月中旬～2月下旬 公表時期 4月
成績評価の基準・方法
単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。 当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「優」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

卒業・進級の認定基準
卒業認定・学位授与の方針 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 社会に貢献する姿勢 2 職業人としての能力 3 専門的知識・技能を活用する能力 4 コミュニケーション能力 5 情報収集・分析力
卒業要件 卒業要件に必要な単位（合計 62 単位以上）
卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。
学修支援等 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	1 人 (25%)	1 人 (25%)	2 人 (50%)
(主な就職、業界等) ・東亜大学医療学部健康栄養学科進学 ・株式会社マツモトキヨシ ・株式会社モリヤマ ・株式会社薬正堂 ・株式会社 沖縄ファーマシー ・株式会社ドラッグストアモリ ・フカイチ調剤薬局			
(就職指導内容) 就職アドバイザーを置き求人に関する情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。 カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。			
(主な学修成果（資格・検定等）） 食生活アドバイザー2級 4名 調剤事務管理士 4名 ヘルスケアアドバイザー 4名 薬学検定2級 1名 薬学検定3級 3名 医薬品登録販売者 4名			
(備考)（任意記載事項） 平成 30 年度 1 年次在籍者 1 名が平成 31 年 3 月 20 日付退学			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79 人	9 人	11.4%
(中途退学の主な理由) パニック障害により登校が困難になり退学 1名 進路変更 7名 配偶者の転勤 1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 修学のミスマッチが起こらないように入学前に十分に学ぶ内容や卒業後に目指す職種について説明する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
生物工学科	100,000 円	650,000 円	110,000 円	その他の費用は教科書代・教材費・諸行事代・教育活動費を含む
環境生態学科	100,000 円	650,000 円	105,000 円	
環境土木学科	100,000 円	620,000 円	110,000 円	
環境建築学科	100,000 円	620,000 円	110,000 円	
IT 総合学科	100,000 円	600,000 円	160,000 円	
栄養薬業学科	100,000 円	620,000 円	110,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ● 特待生制度 (減免) ● 学費等の分割・延納納入制度 ● 離島・県外支援制度 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>2月下旬までに重点目標達成状況項目ごとの総合評価成果・課題分析を終え(自己評価報告書)、3月中旬ごろに学校関係者評価委員会を開催する。評価委員会で挙げた意見、改善点等を次年度の自己評価の重点項目、評価項目等に取り入れる。3月下旬には学校関係者評価報告書の作成を終え、学校関係者評価委員へ配布並び、本校ホームページへの掲載準備を行う。ホームページへの掲載は2020年3月31日のアップを予定している。</p> <p>学校関係者評価委員の任期は2年間とし9月末日までに選任する。学校関係者評価委員は、本校が設置している学科に関係している4産業(建設、IT、食品(ドラッグストア含む)、科学系)から1名ずつ選任し、合計4名とする。</p> <p>学校関係者の主な評価項目は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教育理念 ② 学校運営 ③ 教育活動 ④ 学修成果 ⑤ 学生支援 ⑥ 教育環境 ⑦ 学生の受入れ募集 ⑧ 財務 ⑨ 法令等の遵守 ⑩ 社会貢献・地域貢献 ⑪ 国際交流 		
学校関係者評価の委員		
2019年9月末日までに4名の学校関係者評価委員を選任する。		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年3月31日に本校ホームページで公開する。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.sci-tec.ac.jp/>